

## 「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」最終評価結果表

研究領域	研究領域1 豊かな経済活力を生む社会経済制度の設計
研究課題名	高質の住宅ストックを生み出し支える社会システムの設計
責任機関	一橋大学
研究代表者	齊藤 誠 (経済学研究科教授)

## 評価結果

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった  
 A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった  
 B. 事業の目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった  
 C. 十分な成果があったとは言い難い

## 評価にあたっての意見

本プロジェクトは、最近の経済学を駆使した多くの興味ある実証研究とそれに基づいた政策提言を行っており、我が国における住宅の質の改善や地震リスク管理への貴重な研究であると評価する。また、中間評価にも適切に対応している。

具体的には本研究のキーワードである「緩やかな介入主義」をサポートする多くの実証的ファクトファンディングが見られ、政策提言においても規制強化ではなく各経済主体のインセンティブを最大限に引き出す「緩やかな介入主義」は今後の住宅政策の方向性として高く評価される。

今後はこの「緩やかな介入主義」に具体性を持たせる制度設計に向けて、学会ベースでの研究の進展はいうまでもなく、行政、消費者、業者などの各層においてさらなる議論が展開されることや地震などの自然災害以外のリスク管理や住宅の耐久性に関しても研究が広がっていくことが期待される。

また、今後、本プロジェクトの成果がどのように活用され、具体的な政策展開につながったのかを評価し、フォローアップしていくことを期待する。